

『貧しい人を助ける理由』

二刷における変更点

変更箇所	変更前	変更後
第 2 章 p.47 1 行目	ヨーロッパが短期間に工業成長を回復し、	ヨーロッパが短期間に回復し、工業を成長させ
第 2 章 p.49 訳注 3	北部メキシコ	メキシコ北部
第 2 章 p.51 訳注 4	国際稲研究所 (IRRI) や国際トウモロコシ・小麦改良センター (CIMMYT) などで開発された高収量の改良品種が開発途上国に導入された結果、1960 年代後半以降、米や麦などの農業生産が大幅に増加した現象のこと。アジアの多くの国でコメの自給が達成された。しかし、これらの改良品種が収量を上げるには、化学肥料・農薬の大量投入や灌漑施設が必要だったため、豊かな農家や灌漑施設のある地域には大きな効果をもたらした一方で、このような条件を備えていないところでは十分な成果があがらず、農民間の所得格差拡大の一因になったといわれる。(抜粋：国際協力用語集、p.274)	食糧増産を目的とした穀類の品種改良と、灌漑、肥料、農薬、農業機械などの技術革新とその途上国への導入過程。1960 年代、国際稲作研究所や国際トウモロコシ・コムギ改良センター等で開発された高収量品種の導入により米や小麦の収量が飛躍的に増大し、アジアの多くの国で米の自給が達成された。一方肥料、農薬の大量投与による環境破壊や農民間所得格差の拡大、伝統的農村文化の崩壊を招いたなど、多くの批判もある。
第 2 章 p.52 図 2.2	タイトル「脆弱な国家への主な流入：送金・ <u>支援</u> ・外国直接投資」	タイトル「脆弱な国家への主な流入：送金・ <u>援助</u> ・外国直接投資」
第 2 章 p.57 原注 7	肯定的な相関	肯定的相関
第 4 章 p.110 後ろから 3 行目	IPPC	IPCC
第 4 章 p.111 原注 1	IPPC	IPCC
第 4 章 p.130 図 4.2	イギリスのグラフ 連結線の欠落 (2005 年から 2010 年)	イギリスのグラフ 連結線を追加 (2005 年から 2010 年)
第 4 章 p.140 11 行目	彼らの思うようなの	彼らの思うような

(次ページへ続く)

変更箇所	変更前	変更後
監訳者解説 p.165 7行目・13行目	国際協力大綱	開発協力大綱
訳者紹介 土橋・田中	マンチェスター大学開発政策マネジメント研究所 <u>(IPDM)</u>	マンチェスター大学開発政策マネジメント研究所 <u>(IDPM)</u>
訳者紹介 土橋	宇都宮大学大学院工学研究科博士課程後期課程 (「課程」の重複)	宇都宮大学大学院工学研究科博士後期課程

『貧しい人を助ける理由』 三刷における変更点

変更箇所	変更前	変更後
第2章 p.51 訳注4	国際稲 <u>作</u> 研究所	国際稲研究所 (IRRI)
第2章 p.57 原注7	<u>肯定的</u> 相関 <u>否定的</u> 相関	<u>正の</u> 相関 <u>負の</u> 相関
第4章 p.139 訳注14	<u>経済紙</u> リフォルニア大学	<u>カリ</u> フォルニア大学